

教育用語辞典

「教育用語辞典」第8回目です。今回は穴埋め式の問題です。職員室のお隣の先生に問題を出して話題にすれば、注目されること必至。きつと一目置かれる存在になりますよ。

【ジェンダー】

レベル★

〔じえんだあ〕

生物学的な性別ではなく、①・文化的に形成された性別のこと。幼児期から、家庭教育や学校教育によって形成されることが多い。この概念の導入により、社会的に形成された性別概念や性別役割分業観は変革できるものであると考えられるようになった。教育界では、家庭科の男女共修や、②・名簿の採用などがすすめられた。

AⅡ社会的 IⅡ個人的

UⅡ乗客 EⅡ男女混合

【認定就学者】

レベル★★

〔にんていしゅうがくしゃ〕

就学基準では特別支援学校に就学すべき障害の程度に該当していても、当該市町村の設置する小学校又は中学校において適切な教育を受けることができる特別な事情があると、③・が認める児童生徒のこと。その判断にあたっては、「障害に対応した学校の施設や設備が整備されているかどうか」、「指導面で④・の高い教員が配置されているかどうか」を、十分に考慮する必要がある。

オⅡ保護者 カⅡ市町村教育委員会

キⅡ専門性 クⅡ理想

【TIMSS】

レベル★★★

〔ていむす〕

国際教育到達度評価学会（IEA）の「国際数学・⑤・教育動向調査」のこと。算数（数学）・理科の各国・地域の教育到達度と教育諸要因との関連を明らかにすることがねらいで、調査対象は日本では小学校4年生と中学校2年生にあたる。2003年に行われた調査の結果が2004年に公表された。同時期に公表されたOECDのPIISA調査が、知識や技能を実生活で直面する課題に活用できるかを評価する問題が中心なのに対し、TIMSS調査は、学校のカリキュラムで学んだ算数（数学）・理科の知識や技能の⑥・を評価する問題が中心となっている。

ケⅡ読解力 コⅡ理科

サⅡ応用力 シⅡ到達度



【答え】①ア②エ③カ④キ⑤コ⑥シ